

令和 2 年度

学 生 募 集 要 項

言 語 文 化 学 部

国 際 社 会 学 部

国 際 日 本 学 部

【一般入試】

東京外国語大学

| | |
|------|----------------------|
| 出願期間 | 令和2年1月27日（月）～2月5日（水） |
|------|----------------------|

目 次

| | |
|----------------------------|---|
| ○東京外国語大学(学士課程)のアドミッションポリシー | 1 |
|----------------------------|---|

I 3学部共通事項

| | |
|----------------------|----|
| 1. 試験の実施方法 | 3 |
| 2. 出願資格 | 3 |
| 3. 出願期間 | 4 |
| 4. 出願手続 | 4 |
| 5. 受験票 | 9 |
| 6. 障害等のある入学志願者の事前相談 | 9 |
| 7. 個人情報の利用 | 10 |
| 8. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除 | 10 |
| 9. 欠員の補充方法 | 10 |
| 10. 入学試験に関する情報 | 10 |
| 11. 本人への成績開示 | 11 |
| 12. その他注意事項 | 12 |

II 言語文化学部

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 募集人員 | 13 |
| 2. 専攻言語 | 14 |
| 3. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 | 15 |
| 4. 前期日程入学者選抜方法等 | 15 |

III 国際社会学部

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 募集人員 | 17 |
| 2. 専攻言語 | 18 |
| 3. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 | 19 |
| 4. 前期日程入学者選抜方法等 | 20 |
| 5. 後期日程入学者選抜方法等 | 21 |

IV 国際日本学部

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 募集人員 | 23 |
| 2. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 | 23 |
| 3. 前期日程入学者選抜方法等 | 24 |

《 令和3年度（次年度）入試の変更について 》

英語4技能資格・検定試験の活用や、全学部でスピーキングテストの実施が予定されています。詳しくは、ホームページをご確認ください。

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/important/>

東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー

① 教育の理念

東京外国語大学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

② 求める学生像

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けたうえで、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【 言語文化学部 】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ○出版、広告、観光などに関わる職業 | ○文化事業の企画に関わる職業 |
| ○新聞社、放送局などのマスメディア | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○通訳・翻訳に関わる職業 | ○英語など外国語教育に関わる職業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | |

【 国際社会学部 】

世界の国や地域の歴史・政治・経済・社会に関心をもち、多様なビジネスの分野はもちろん、国際社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決に携わることによって、人間社会に貢献する国際職業人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ○外交官などの国家公務員、及び地方公務員 | ○国際的に展開する企業(金融、商社、メーカーなど) |
| ○国際機関や国際的に活動するNGO | ○新聞社、放送局などのマスメディア |
| ○社会科・地理歴史科の中学・高校教員 | ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 |

【 国際日本学部 】

国際的視座から日本を学び、日本発のグローバルリーダーとなることを目指す人、また、多言語・多文化化の進む日本や世界で共生社会実現に貢献することを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| ○グローバル企業、海外展開をする日本企業、地方自治体、中央官庁、国際機関等 | |
| ○通訳や翻訳の仕事、観光や運輸関係の企業 | ○出版・メディア関係の企業 |
| ○大学院に進学し研究・調査の仕事 | ○国語科の中学・高校教員 |
| ○日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関 | |

③ 選抜方法の方針（一般入試）

1. 前期日程

・言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部で実施します。

・高等学校等において、「国語」、「数学」、「外国語」、「地理歴史・公民」、「理科」の各教科をバランスよく学び、必要な基礎学力を身に付けていることを確認するため、大学入試センター試験は、5教科5科目（理科の「基礎」科目を選択する場合は6科目）を課します。個別学力検査では、外国語（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」または「朝鮮語」）と、地理歴史（「世界史」または「日本史」）の試験を課しています。

・個別学力検査：外国語（英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語）については、高等学校の学習指導要領に則り、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を前提とした総合的な問題構成となっています。語彙力・文法力・文章構成力などの言語構造への感覚を見る問題、多様なジャンルの文章の理解力をリーディングとリスニングの両面で問う問題により、受験生が選択した外国語の理解度を問います。とくに「英語」の場合には、アカデミックな内容を聞き取り、それ

を要約し、さらに自分の意見をまとめる問題などからなる試験を通じ、受信した内容を思考・判断し、英語や日本語で発信する表現力を問います。なお、国際日本学部では、外国語は英語に限ります。また、スピーキングの試験を実施し、口頭による英語の表現力を問います。

・個別学力検査：地理歴史（世界史・日本史）については世界や日本の歴史の基本的な事項の理解を前提に、歴史上の個々の事項を、歴史の展開や社会構造の中に位置づけて、広い文脈のなかで考え、それを論理的に日本語で表現する力を身に付けているかどうかを問います。

大学では、基礎学力に加え、ものごとに対する思考力・判断力・表現力を身に付けていることが必要です。本学では、本学が実施する個別学力検査により、総合的な基礎学力とともに、思考力・判断力・表現力が身に付いているかを問うています。

2. 後期日程

・国際社会学部で実施します。

・大学入試センター試験は、3教科3科目とし、個別学力検査では論述問題を中心とする外国語（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」または「朝鮮語」、ただし募集単位（地域）のうち、「北西ヨーロッパ/北アメリカ」、「アフリカ」を志願するものは必ず「英語」で受験すること）の試験を課しています。

・個別学力検査：外国語（英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語）については、文化・社会に関する文章を示して、文脈を押さえながら正確に読解する能力を測ります。また、示された文章をもとに出題される論述問題をとおして、論理的思考力と日本語の文章表現力などを測ります。

大学では、基礎学力に加え、ものごとに対する思考力・判断力・表現力を身に付けていることが必要です。本学では、本学が実施する個別学力検査により、総合的な基礎学力とともに、思考力・判断力・表現力が身に付いているかを問うています。

I 3 学部共通事項

1. 試験の実施方法

令和2年度入学者選抜試験は、言語文化学部及び国際日本学部については「前期日程」により実施し、国際社会学部については「前期日程」と「後期日程」の分離分割方式により実施する。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験の教科・科目のうち、本学が指定したものを受験した者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる、次の①から⑥までのいずれかに該当する者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者（昭和53年文部省告示第142号）
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 出願資格(3)の⑥により出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となるので、次の要領で申請すること。

1. 申請期限

令和元年12月20日（金）本学必着

2. 申請方法

簡易書留郵便（「入学資格認定申請書類在中」と明記すること。）

3. 提出書類

①入学資格認定申請書（本学所定様式。本学ホームページからダウンロード。）

(<http://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/sinseisyo.pdf>)

②高等学校課程に相当する課程等における学習歴を証明する書類（成績証明書でも可）、あるいは、社会での実務経験や取得した資格を有する者は、その実務経験や取得した資格を証明する書類（※学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出すること。）

③レターパックライト（本学から通知を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと）

(注1) レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

(注2) 申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

4. 審査結果

入学資格審査結果は、③により本人に通知する。

3. 出願期間

令和2年1月27日（月）から2月5日（水）まで

本学指定のインターネット出願専用サイトで必要事項を登録した上で、志願票等を印刷し、調査書等の必要書類と合わせて簡易書留速達で郵送すること。（以下、「Web出願」といいます。）

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| Web出願受付期間 | 令和2年1月27日（月）10:00～2月5日（水）15:00 |
| （注）Web出願後の必要書類提出期間 | 令和2年2月5日（水）郵送必着（簡易書留速達に限る） |

< 注 意 >

Web出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。Webで入力が完了していても、調査書等の必要書類が令和2年2月5日（水）までに本学へ到着しない場合は、出願を受理できませんので、注意してください。（必ず簡易書留速達で郵送すること。窓口へ直接持参されても受理しません。）

なお、期間後に本学に到着した場合でも、令和2年2月3日（月）以前の発信局消印のある簡易書留速達に限り受け付けます。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

4. 出願手続

出願は前期日程・後期日程ともに、以下の手順に従ってWeb出願専用サイトより行うこと。

事前の準備

① 推奨環境の確認

パソコン、スマートフォン又はタブレットPCからインターネットを通じて出願を行います。下記の動作環境を満たすパソコン等をご用意ください。

[パソコン]

Internet Explorer 11
Microsoft Edge
Google Chrome

[スマートフォン・タブレットPC]

Android バージョン9 (Pie) Chrome
iOS バージョン12以上 Safari

ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨WEBブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。

本サイトのインターネット出願ではcookie（クッキー）及びJavaScriptを使用しています。

ご使用のブラウザの設定画面にて、cookie及びJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Androidスマートフォン・タブレットPCのブラウザはChrome、iOSのブラウザはSafariをご使用ください。

② PDFの確認

募集要項、必要書類、出願申込受付後の「提出用書類」はPDF又はGoogleDocsで表示されます。

※PDFで文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です（無償）。

ご利用のパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、下記のアイコンをクリックし、最新版をインストールしてください。

※スマートフォン、タブレットPCでご覧いただいている場合は、GoogleDocsでの表示を推奨しています（閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません）。

③ プリンターの準備

出願申込受付後の「提出用書類」を印刷するためにプリンターが必要です。

ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。

必ずA4用紙に印刷してください。

※プリンターをご使用できない環境の場合、「提出用書類」はPDF形式で表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。

④ メールアドレスの準備

志願者情報登録時にメールアドレスが必要です。登録したアドレス宛に、出願申込受付のお知らせメールや、大学からの連絡メールが届きます。

※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。

@ml.sak2-app.jp、@mle.sak2-app.jpを受信可能なドメインとして設定してください。

⑤ 顔写真データの準備

下記を満たす顔写真データが、出願登録の際に必要となります。登録した顔写真は、試験当日に本人照合のために使用します。

- ・カラー、白黒どちらでも可
- ・出願前3か月以内に撮影した志願者本人の写真であること
- ・志願者本人のみが写っているもの
- ・正面向き、上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、無帽、無背景であること（顔に影がないもの）
- ・目元輪郭を隠していないこと
- ・ピントが合っていて、鮮明であること
- ・画像に加工を施していないこと
- ・ファイル形式：JPEG、ファイルサイズ：縦320ピクセル以上×横240ピクセル以上

⑥ 入学検定料決済方法の準備

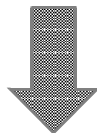
クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行（Pay-Easy利用のATM・インターネットバンキング）でのお支払いが可能です。クレジットカードで支払う場合は、カードをお手元にご準備ください。

⑦ その他の事前準備

出願完了までに必要となりますので、以下のものを予めご準備ください。

- ・大学入試センター試験の受験票
- ・大学入試センター試験の成績請求票（「国公立前期日程用」又は「国公立後期日程用」）
- ・市販の角型2号封筒（横24cm×縦33.2cmでA4サイズの書類を折らずに入れることのできる封筒）
- ・高等学校の調査書等

※前期日程と後期日程を併願する場合は、封筒と高等学校の調査書等は2部ずつ必要になります。



Web出願サイトでの出願登録手順

① Web出願専用サイトにアクセス

東京外国語大学 令和2年度一般入試 Web出願サイト

<https://www.sak2-app.jp/app/tufs>（※1月27日（月）10:00からアクセスが可能です。）

※東京外国語大学のホームページ「受験生ナビ Hello TUFS!」の入試情報ページからもアクセスが可能です。（<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/>）

② 必要事項の入力

出願する日程を選択し、画面の指示に従って志願者情報を入力してください。(入試日程(前期日程・後期日程)ごとに、それぞれ出願登録が必要となります。)

〔Step1. 出願情報〕

志望する募集単位、本学学力検査の科目選択、大学入試センター試験成績請求票番号等を登録します。

〔Step2. 基本情報〕

氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、出身高等学校等を登録します。

〔Step3. 出願内容確認〕

出願内容に誤りがないことを最終確認し、確定します。出願後に志願者情報の修正はできませんので、必ず全項目を見返してください。

③ ユーザー登録

画面の指示に従ってユーザーIDを取得してください。

登録したIDとパスワードは、ログイン時に毎回必要となりますので、記録するなどして忘れないよう注意してください。

④ 顔写真登録

顔写真データを登録します。

⑤ 検定料の支払い

入学検定料 17,000円 (※別途、Web出願システム使用料 550円が発生します。)

Web出願専用サイトより、クレジットカード決済、コンビニエンスストアからの納入、Pay-easy利用の銀行決済のいずれかの方法を選択し、出願期間内に支払手続を行ってください。出願期間内に支払いが完了しないと、出願に必要な各種書類がダウンロードできませんので、ご注意ください。

⑥ 出願書類の準備

志願票及び宛名票の書類2点をダウンロードし、A4サイズでそれぞれ片面印刷してください。(カラー、白黒どちらでも可)

出力した志願票に、大学入試センター試験の成績請求票を必ず貼付してください。

※Web出願システムの操作方法、支払方法で、不明な点は下記に問い合わせてください。

[問い合わせ先]

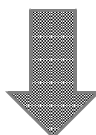
○東京外国語大学Web出願専用コールセンター

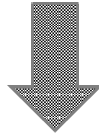
受付期間：令和2年1月27日(月)から2月7日(金)まで ※土日含む

受付時間：9:00～18:00

T E L : 03-6706-2928

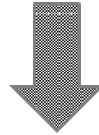
※Web出願システムに関する緊急の連絡がある場合は、本学ホームページ上に掲載します。





出願書類の提出

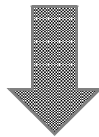
- ① 市販の角形2号封筒（横24cm×縦33.2cm）に、印刷した「宛名票」を貼り、必要な出願書類一式を封入してください。（出願書類については、8ページ「出願書類等」を参照）
- ② 郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所、氏名を記入してください。
- ③ 簡易書留速達にて本学入試課へ郵送してください。（持参不可）



※出願受付後

受験票の印刷

令和2年2月14日（金）に、本学からWeb出願システムに登録されたメールアドレス宛に、受験票発行の通知をします。メールを受信したら、受験票は各自でWeb出願専用サイトよりダウンロードし、印刷してください。（A4サイズ、カラー・白黒どちらでも可）
もし、令和2年2月14日（金）に通知がない場合は、2月17日（月）に電話で本学入試課まで問い合わせてください。（問い合わせ先は12ページを参照）



試験当日

- ① 試験当日は、本学受験票と大学入試センター試験受験票の両方を必ず持参してください。
- ② 本学受験票及び大学入試センター試験受験票は、入学手続きに必要となるので、紛失しないよう十分に注意してください。

(1) 出願書類等

次の出願書類を各自で用意した角型2号封筒に一括して入れ、必ず簡易書留速達で郵送すること。(持参不可)

なお、前期日程・後期日程を併願する場合は、角型2号封筒を2枚用意し、それぞれに出願書類等を同封し、郵送すること。(調査書等は、それぞれ1通ずつ必要となるので注意すること)

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------|--|
| 志 願 票 | <p>Web出願専用サイトよりダウンロードし、片面印刷したもの。(A4サイズ、カラー・白黒どちらでも可)</p> <p>また、所定の欄に大学入試センターから交付された令和2年度センター試験成績請求票(前期日程出願者は「<u>前</u> 国公立前期日程用」、後期日程出願者は「<u>後</u> 国公立後期日程用」)を貼り付けること。</p> |
| 調 査 書 | <p>出身学校長が作成し、<u>厳封したもの</u>。</p> <p>【調査書に代えることができる書類について】</p> <p>①外国において学校教育における12年の課程を修了した者は、修了証明書(Diploma等)及び成績証明書を提出すること。</p> <p>②国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア資格証書及び成績証明書を提出すること。</p> <p>③ドイツ連邦共和国の大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証書を提出すること。</p> <p>④フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書及びバカロレア資格試験成績証明書を提出すること。</p> <p>⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者は、GCE (General Certificate of Education) の成績評価証明書を提出すること。</p> <p>⑥文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、成績証明書を提出すること。</p> <p>⑦高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含む)は、合格成績証明書(合格証明書は不要)を提出すること。</p> <p>なお、この合格者の中で高等学校に在籍したことがある者については、在学期間中の調査書を併せて提出すること。調査書が発行されない場合は、高校在学期間中の成績及び在学期間が明記されている証明書(学位取得及び学業成績証明書等)を提出すること。</p> <p>⑧本学が高等学校を卒業したものと同等以上の学力がある者として入学資格を個別認定した者は、<u>認定通知書の写し</u>及び高等学校の課程に相当する課程の調査書又は成績証明書を提出すること。</p> <p>⑨指導要録の保存期間経過及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、卒業証明書及び単位修得証明書を提出すること。提出できない場合は、学校からの「発行できない旨の書面」を提出すること。</p> |
| 宛 名 票 | <p>Web出願専用サイトよりダウンロードし、片面印刷したもの。(A4サイズ、カラー・白黒どちらでも可) <u>角型2号封筒に「宛名票」を貼り付けて、「志願票」及び「調査書等」を一括して郵送すること。</u></p> <p>また、郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所、氏名を記入すること。</p> <p>なお、宛名票には、合格通知書等本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号、住所(日本国内に限る)、氏名をWeb出願専用サイトで入力すること。</p> |

(2) 留意事項

- ①本学の言語文化学部、国際社会学部又は国際日本学部の「前期日程」試験に出願した者は、他の「前期日程」に属する国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下「国公立大学・学部」という。)に出願することはできない。また、本学の国際社会学部の「後期日程」試験に出願した者は、他の「後期日程」に属する国公立大学・学部に出願することはできない。
- ②本学の言語文化学部、国際社会学部又は国際日本学部の「前期日程」試験と国際社会学部の「後期日程」試験を併願することは差し支えない。

- ③本学又は他の国公立大学・学部「前期日程」試験に合格し、その入学手続を行った者は、本学の「後期日程」試験を受験しても合格者とはならない。
- ④本学又は他の国公立大学・学部の推薦入試又はAO入試の合格者は、当該推薦入試又はAO入試を実施する国公立大学・学部の定める手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて、本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」及び「後期日程」を受験しても、その合格者にはならない。
- ⑤出願後の志願学部、募集単位（入学後の専攻言語の希望順位を含む。）及び本学学力検査「外国語」、「地理歴史」の選択科目の変更は認められないので慎重に選択すること。
- ⑥出願書類に不備がある場合は受理しないことがあるので、十分注意すること。
- ⑦受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。
- ⑧本学が指定した大学入試センター試験の受験教科・科目が不足している場合は、出願無資格者となる。出願受付後に出願無資格者であることが判明した者に対しては、検定料のうち13,000円を返還する。なお、その他の者には、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。

5. 受験票

- (1) 出願書類が不備なく受理された出願者に対し、本学からWeb出願システムに登録されたメールアドレス宛に、令和2年2月14日（金）に受験票発行の通知をする。メールを受信したら、**受験票は各自でWeb出願専用サイトよりダウンロードし、印刷すること。（A4サイズ、カラー・白黒どちらでも可）**
もし、令和2年2月14日（金）に通知がない場合は、2月17日（月）に電話で本学入試課まで問い合わせること。（問い合わせ先は12ページを参照）
- (2) 試験当日は、本学受験票と大学入試センター試験受験票の両方を必ず持参すること。
- (3) 本学受験票及び大学入試センター試験受験票は、入学手続時に必要となるので、紛失しないよう十分に注意すること。

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を希望する志願者で、病気・負傷や障害等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。

- (1) 受付期間 令和元年12月20日（金）まで
- (2) 相談方法
下記の必要事項を記入し（様式任意）、添付書類とともに、簡易書留により郵送又は直接窓口へ持参すること。必要な場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行う。

- [記載事項]
- ①志願者氏名、年齢、性別
 - ②連絡先（住所・電話番号）
 - ③出身学校、卒業又は修了（見込）年月
 - ④試験区分、志願学部、募集単位、受験教科・科目
 - ⑤障害の種類、程度
 - ⑥受験上希望する配慮事項
 - ⑦修学上希望する配慮事項
 - ⑧添付書類
 - ・医師の診断書
 - ・令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書（写）
 - ・障害者手帳（写）等
 - ⑨レターパックライト（本学から通知を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと）
 - （注1）レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。
 - （注2）申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

7. 個人情報の利用

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づき、厳密に取り扱います。
- (2) 出願書類により取得した個人情報及び試験成績等については、入学者選抜に関する業務、入学手続業務(学内行事案内等を含む。)及び入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。
なお、入学者にあっては、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(授業料免除、奨学金申請及び健康管理等)及びこれらに付随する業務を行う場合にも利用します。

8. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除

入学前1年以内に、本人の学資を主として負担している者が死亡若しくは風水害等の災害を受けた場合など特別の事情のため、入学料の納付が著しく困難と認められる者、又は経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者には、願い出により選考の上、納付すべき入学料の全額又は半額、授業料の全額又は半額を免除する制度がある。

手続等の詳細は、合格通知書とともに郵送する入学手続案内で通知する。

9. 欠員の補充方法

(1) 追加合格

入学手続期間終了後に欠員が生じた場合は、追加合格により補充を行うことがある。

追加合格該当者への通知は、令和2年3月30日(月)から原則として3月31日(火)までの間に志願票に記入してある連絡先へ電話により行うので、やむを得ず本人が不在の場合でも、確実に本人と連絡が取れるようにしておくこと。

なお、不在等により連絡が取れないと、追加合格者としての資格が無くなることがあるので注意すること。

追加合格の通知を受けた者で入学の意志がある者は、指定された日時までに入学手続を行うこと。入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

(注) 本学から追加合格該当者として通知を受けても、既に他の国公立大学・学部に入学者手続を完了した者は、これを取り消して本学に入学者手続をすることはできない。

(2) 欠員補充第2次募集

追加合格によっても更に欠員が生じた場合は、「欠員補充第2次募集」を行うことがある。

10. 入学試験に関する情報

| 開示内容 | 開示方法 | 開示時期 |
|----------------------|-----------------------|---|
| 出願状況 | 本学ホームページに掲載 | 令和2年1月31日(金)～2月5日(水) ※上記期間中随時更新(土曜日・日曜日を除く。) |
| 追加合格状況 | | 令和2年3月30日(月)～3月31日(火) ※上記期間中随時更新 |
| 受験者数 合格者数 入学者数 | 本学ホームページに掲載 | 試験実施後(令和2年5月以降) |
| 正解・解答例 | 本学ホームページに掲載 | |
| 試験問題 | 本学窓口にて閲覧 | |
| 出題方針 合否判定基準 | 本要項15、20、21及び24ページに記載 | 試験実施前(令和元年10月以降) |

11. 本人への成績開示

本学では、次のとおり個別学力検査等の個人成績を、**不合格者についてのみ**、受験者本人からの申込に基づき開示（以下「成績開示」という。）します。

なお、個人情報の保護のため、**代理人による申込はできません。**

(1) 成績開示対象者

一般入試（前期日程・後期日程）における**個別学力検査を受験して不合格となった者**

~~※個別学力検査を受験して合格した者は、開示対象者とはなりません。~~

(2) 開示内容

①令和2年度大学入試センター試験の得点（本学が指定した受験を要する科目の総合点）

②個別学力検査の得点

③出願した募集単位の合格最低点

(3) 申込期間

令和2年5月7日（木）～6月30日（火）

①窓口へ持参する場合は、平日の9:00～12:00、13:00～17:00まで（土日、祝日を除く。）

②郵送の場合は、6月30日（火）までに必着

(4) 申込方法

次のア～ウを学務部入試課へ持参するか、「成績開示申込」と朱書した封筒にア～ウを同封して、**簡易書留郵便**で郵送してください。~~※電話での申込はできません。~~

[窓口での申込]

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

[郵送の場合の送付先]

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

ア 入試情報開示申請書（本学所定様式・受験者本人自筆）

入試情報開示申請書は、令和2年5月7日（木）以降に、東京外国語大学のホームページ「受験生ナビ Hello Tufs!」の入試情報のページからダウンロードし、印刷してください。

(<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/>)

イ 本学受験票

本学受験票は、**令和2年3月31日（火）17:00まで**、Web出願サイトよりダウンロードが可能です。

万一、紛失等により提出できない場合には、大学入試センター試験受験票を代わりに送付してください。

ウ レターパックライト（本学から通知を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと。）

（注1）レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

（注2）申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。

なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

(5) 成績の連絡方法

申込受付から概ね1ヶ月以内に、(4)ウのレターパックライトにより、「成績通知書」を送付します。

12. その他注意事項

- (1) 大学入試センター試験受験票、成績請求票の再発行を受けた場合には、再発行された受験票、成績請求票のみが有効である。
- (2) 提出書類に偽りの記載又は隠した事実があったときは、入学後といえども入学を取り消すことがある。
- (3) 受験に際し宿泊を必要とする者は各自で手配すること。なお、東京外国語大学生生活協同組合において宿泊施設の斡旋を行っているので、詳細は下記まで直接問い合わせること。

【問い合わせ先】

○東京外国語大学生生活協同組合

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～16:00

TEL：042-354-3061 E-mail：coopoffice@tufs.ac.jp

URL：<https://text.univ.coop/puk/START/tufs/>

※もしくは、右のQRコードを読み込んでアクセスすること。



- (4) 本要項に関して不明な点があるときは、下記の【問い合わせ先】に照会すること。

【問い合わせ先】

1. 出願に関すること

○東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL：042-330-5179（直通）

受付時間（窓口・電話とも）

月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

（土日祝日及び12月29日～1月3日は休みです。）

※ 問い合わせについては、原則として**出願者本人**が行うこと。

2. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除に関すること

○学生課学生係 TEL：042-330-5177（直通）

3. Web出願システムの操作方法、支払方法に関すること

○東京外国語大学Web出願専用コールセンター

受付期間：令和2年1月27日（月）から2月7日（金）まで ※土日含む

受付時間：9:00～18:00

T E L：03-6706-2928

Ⅱ 言語文化学部

1. 募集人員

| 学科 | 入学定員 | 募集単位 (専攻言語) | 募 集 人 員 | | | | 入学後の専攻地域 | | | | |
|----------------|------|--|---------|-----------------|--------------|--------------|-------------------|-----|-----|-----|--|
| | | | 前期日程 | 詳細は各募集要項を参照のこと。 | | | | | | | |
| | | | | 推薦入試 | 帰国生等 特別推薦 | 私費外国 人留学生 | | | | | |
| 言語 文化 学科 | 335人 | 英語 | 36人 | 5人 | 若干名 | 若干名 | 北西ヨーロッパ ・北アメリカ | | | | |
| | | ドイツ語 | 22人 | 3人 | | | 中央ヨーロッパ | | | | |
| | | ポーランド語 チェコ語 | 12人 | 2人 | | | 西南ヨーロッパ | | | | |
| | | フランス語 | 22人 | 3人 | | | イベリア・ ラテンアメリカ | | | | |
| | | イタリア語 | 12人 | 2人 | | | ロシア | | | | |
| | | スペイン語 | 25人 | 3人 | | | 中央アジア | | | | |
| | | ポルトガル語 | 11人 | 2人 | | | 東アジア | | | | |
| | | ロシア語 | 21人 | 3人 | | | 東南アジア | | | | |
| | | ロシア語及びウズベク語 モンゴル語 | 9人 | 2人 | | | | | | | |
| | | 中国語 | 23人 | 3人 | | | | | | | |
| | | 朝鮮語 | 12人 | 2人 | | | | | | | |
| | | インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語 | 19人 | 3人 | | | | | | | |
| | | タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語 | 23人 | 5人 | | | 南アジア | | | | |
| | | ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語 | 19人 | 3人 | | | | | | | |
| | | アラビア語 ペルシア語 トルコ語 | 24人 | 4人 | | | | 中東 | | | |
| | | 合計 | 335人 | | | | 290人 | 45人 | 若干名 | 若干名 | |

(注1) 前期日程の募集人員には、各言語とも帰国生等特別推薦入試及び私費外国人留学生入試の募集人員若干名を含む。

(注2) 推薦入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

2. 専攻言語

言語文化学部の前期日程試験においては、複数の募集単位（専攻言語）を一括して募集する場合がある。この場合志願者は、出願時に、一括されている専攻言語のすべてに関し希望順位を届け出ること。

前期日程合格者の配置は、入学者選抜結果の上位者から希望順に決定する。なお、配置の人数割合は、概ね以下を目安とする。

[前期日程の目安]

| 募集単位 | 募集人員 | 配置される専攻言語及び人数 | |
|-------------|------|---------------|-----|
| 英語 | 36人 | 英語 | 36人 |
| ドイツ語 | 22人 | ドイツ語 | 22人 |
| ポーランド語 | 12人 | ポーランド語 | 6人 |
| チェコ語 | | チェコ語 | 6人 |
| フランス語 | 22人 | フランス語 | 22人 |
| イタリア語 | 12人 | イタリア語 | 12人 |
| スペイン語 | 25人 | スペイン語 | 25人 |
| ポルトガル語 | 11人 | ポルトガル語 | 11人 |
| ロシア語 | 21人 | ロシア語 | 21人 |
| ロシア語及びウズベク語 | 9人 | ロシア語及びウズベク語 | 4人 |
| モンゴル語 | | モンゴル語 | 5人 |
| 中国語 | 23人 | 中国語 | 23人 |
| 朝鮮語 | 12人 | 朝鮮語 | 12人 |
| インドネシア語 | 19人 | インドネシア語 | 9人 |
| マレーシア語 | | マレーシア語 | 4人 |
| フィリピン語 | | フィリピン語 | 6人 |
| タイ語 | 23人 | タイ語 | 6人 |
| ラオス語 | | ラオス語 | 4人 |
| ベトナム語 | | ベトナム語 | 5人 |
| カンボジア語 | | カンボジア語 | 4人 |
| ビルマ語 | | ビルマ語 | 4人 |
| ウルドゥー語 | 19人 | ウルドゥー語 | 6人 |
| ヒンディー語 | | ヒンディー語 | 9人 |
| ベンガル語 | | ベンガル語 | 4人 |
| アラビア語 | 24人 | アラビア語 | 12人 |
| ペルシア語 | | ペルシア語 | 6人 |
| トルコ語 | | トルコ語 | 6人 |

3. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】（5教科5科目または5教科6科目の受験を要する。）

| 教科 | 科目 | 成績利用 |
|------|---|---|
| 国語 | 「国語」 | 必須 |
| 数学 | ① 「数学Ⅰ」、 「数学Ⅰ・数学A」 | 1科目選択 なお、複数の科目を受験した場合は、 高得点の科目の成績を利用する。 |
| | ② 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 | |
| 外国語 | 「英語（リスニングを含む）」、 「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」 | 1科目選択 |
| 地理歴史 | 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」 | 6科目のうち1科目を 選択 …… a |
| 公民 | 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 | 4科目のうち1科目を 選択 …… b |
| 理科 | ① 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 4科目のうち2科目を 選択 …… c |
| | ② 「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」 | 4科目のうち1科目を 選択 …… d |

(注1) 「地理歴史・公民」を2科目受験した場合、または「理科②」を2科目受験した場合、もしくはどちらの教科も2科目受験した場合は、その受験順により成績の利用が制限されることがある。具体的には、「地理歴史・公民」の第1解答科目は必ず利用し、残りの1つについては、「地理歴史・公民」の第2解答科目と「理科①」、「理科②」（「理科②」を2科目受験した場合は、その第1解答科目）の中で受験した科目のうち、高得点の成績を利用する。

(注2) 大学入試センター試験の科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、大学ホームページ等で公表するので注意すること。

4. 前期日程入学者選抜方法等

(1) 出題方針

外国語は読解力、聴解力、作文力を中心に全般的な運用能力をみる。

地理歴史は歴史に関する基礎的な知識を確認する。あわせて、歴史的な視点から現代の国際社会を理解する力を確認する。

(2) 合否判定基準

令和2年度大学入試センター試験の成績、本学学力検査の成績及び調査書の内容により総合して行う。

(3) 本学学力検査

- ① 実施期日 令和2年2月25日（火）
- ② 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- ③ 学力検査実施教科・科目及び試験時間

| 教科 | 科目 | 試験時間 |
|-----|--|---------------------------|
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」の中から1科目を選択し、受験すること。 <u>ただし、募集単位（専攻言語）のうち、「英語」を志願する者は必ず「英語」で受験すること。</u> 【注意事項】 ①科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 | 10:00～12:30 (150分) |

| | | |
|------|--|----------------------|
| | ②試験はリスニングを含む。 | |
| 地理歴史 | 「日本史」または「世界史」のどちらか1科目を選択し、受験すること。 【注意事項】 科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 | 14:00～15:00 (60分) |

④ 大学入試センター試験及び本学学力検査の配点

| 試験区分 | 教 科 | | | | | | 合計 |
|------------|------|-----|------|--------------|----|----|------|
| | 国語 | 数学 | 外国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | |
| 大学入試センター試験 | 100点 | 50点 | 200点 | 100点 (50点×2) | | | 450点 |
| 本学学力検査 | — | — | 300点 | 100点 | — | — | 400点 |
| 計 | 100点 | 50点 | 500点 | 200点 | | | 850点 |

※大学入試センター試験の外国語を「英語」で受験する者は、「英語リスニング」を含む。
なお、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。

(4) 合格者発表

令和2年3月6日（金） 午前10時 本学掲示板

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所宛に郵送する。
また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する。ただし、必ず合格通知書により確認すること。

(<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/guidelines/goukaku.html>)

なお、電話による合否結果の照会には、一切応じない。

※入学手続期間終了後に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがある。詳細は、10ページ「9. 欠員の補充方法」を参照すること。

(5) 入学手続等

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。
なお、入学手続の際、本学受験票及び大学入試センター試験の受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。

① 手続期間

令和2年3月14日（土）・15日（日）

② 納付金

入学金：282,000円

英語外部検定試験料：17,000円

なお、授業料は前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。

(注1) 入学時又は在学中に授業料・英語外部検定試験料の改定が行われた場合は、新授業料・新英語外部検定試験料を適用する。

(注2) 入学金・授業料免除の申請手続等については、10ページ「8. 入学金免除及び徴収猶予、授業料免除」を参照すること。

(注3) 入学時には、上記入学金等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

③ 留意事項

- 令和2年3月15日（日）16時までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。
- 本学又は他の国公立大学・学部「前期日程」試験に合格し、令和2年3月15日（日）までに入学手続を行った者は、本学の「後期日程」試験に出願して受験しても合格者とはならない。
- 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできない。
- 他の国公立大学・学部既に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入學手続を行うことはできない。
- 入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を令和2年3月31日（火）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

Ⅲ 国際社会学部

1. 募集人員

| 学科 | 入学定員 | 募集単位 (専攻地域) | 募 集 人 員 | | | | | 入学後の 専攻言語 |
|----------------------------|------|-------------------|---------|------|-----------------|--------------|--------------|--|
| | | | 前期日程 | 後期日程 | 詳細は各募集要項を参照のこと。 | | | |
| | | | | | 推薦 | 帰国生等 特別推薦 | 私費外国 人留学生 | |
| 国 際 社 会 学 科 | 335人 | 北西ヨーロッパ/ 北アメリカ | 20人 | 5人 | 2人 | 若干名 | 若干名 | 英語 |
| | | 中央ヨーロッパ | 28人 | 6人 | 2人 | | | ドイツ語 ポーランド語 チェコ語 |
| | | 西南ヨーロッパ | 27人 | 8人 | 2人 | | | フランス語 イタリア語 |
| | | イベリア/ ラテンアメリカ | 29人 | 7人 | 3人 | | | スペイン語 ポルトガル語 |
| | | ロシア | 17人 | 3人 | 2人 | | | ロシア語 |
| | | 中央アジア | 13人 | | | | | ロシア語及び ウズベク語 モンゴル語 |
| | | 東アジア | 30人 | 7人 | 3人 | | | 中国語 朝鮮語 |
| | | 東南アジア第1 | 15人 | 4人 | 2人 | | | インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語 |
| | | 東南アジア第2 | 22人 | 4人 | 2人 | | | タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語 |
| | | 南アジア | 15人 | 4人 | 2人 | | | ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語 |
| | | 中東 | 19人 | 5人 | 2人 | | | アラビア語 ペルシア語 トルコ語 |
| | | アフリカ | 10人 | 3人 | 2人 | | | 英語 |
| | | オセアニア | 9人 | — | 1人 | | | 英語 |
| 合計 | 335人 | | 254人 | 56人 | 25人 | 若干名 | 若干名 | |

(注1) 前期日程の募集人員には、各地域とも帰国生等特別推薦入試及び私費外国人留学生入試の募集人員若干名を含む。

(注2) 推薦入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

(注3) 「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ/北アメリカ」及び「イベリア/ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

2. 専攻言語

国際社会学部においては、地域ごと一括の募集を行うが、入学後、学生は1. 募集人員に示されている言語のいずれかに配置となる。

前期日程志願者のうち、複数の専攻言語がある地域を志願する者は、出願時に専攻言語のすべてについて希望順位を届け出ること。

前期日程合格者の配置は、入学者選抜結果の上位者から希望順に決定する。なお、前期日程合格者の専攻言語の人数割合は、概ね以下を目安とする。

[前期日程の配置の目安]

| 地域 | 募集人員 | 配置される専攻言語及び人数 | |
|-------------------|------|---------------|-----|
| 北西ヨーロッパ/ 北アメリカ | 20人 | 英語 | 20人 |
| 中央ヨーロッパ | 28人 | ドイツ語 | 18人 |
| | | ポーランド語 | 5人 |
| | | チェコ語 | 5人 |
| 西南ヨーロッパ | 27人 | フランス語 | 18人 |
| | | イタリア語 | 9人 |
| イベリア/ ラテンアメリカ | 29人 | スペイン語 | 20人 |
| | | ポルトガル語 | 9人 |
| 中央アジア | 13人 | ロシア語及びウズベク語 | 6人 |
| | | モンゴル語 | 7人 |
| 東アジア | 30人 | 中国語 | 19人 |
| | | 朝鮮語 | 11人 |
| 東南アジア第1 | 15人 | インドネシア語 | 6人 |
| | | マレーシア語 | 4人 |
| | | フィリピン語 | 5人 |
| 東南アジア第2 | 22人 | タイ語 | 5人 |
| | | ラオス語 | 4人 |
| | | ベトナム語 | 5人 |
| | | カンボジア語 | 4人 |
| | | ビルマ語 | 4人 |
| 南アジア | 15人 | ウルドゥー語 | 5人 |
| | | ヒンディー語 | 6人 |
| | | ベンガル語 | 4人 |
| 中東 | 19人 | アラビア語 | 9人 |
| | | ペルシア語 | 5人 |
| | | トルコ語 | 5人 |
| アフリカ | 10人 | アフリカ | 10人 |
| オセアニア | 9人 | オセアニア | 9人 |

後期日程の志願者のうち、複数の専攻言語がある地域を志願する者は、出願時に、希望する専攻言語1つを選択すること。

後期日程合格者の専攻言語は、希望どおりに決定する。

(注) アフリカ地域においては、入学後、1年次からの英語のほか、フランス語、ポルトガル語、アラビア語のうち1つを学ぶ。そのほか、スワヒリ語の履修も推奨されている。

オセアニア地域においては、入学後、1年次からの英語のほか、フランス語、中国語、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語のうち1つを学ぶ。そのほか、オセアニア諸語の履修も推奨されている。

3. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】（5教科5科目または5教科6科目の受験を要する。）

| 教科 | 科目 | 成績利用 |
|------|---|--------------------------------------|
| 国語 | 「国語」 | 必須 |
| 数学 | ① 「数学Ⅰ」、 「数学Ⅰ・数学A」 | 1科目選択 |
| | ② 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 | なお、複数の科目を受験した場合は、 高得点の科目の成績を利用する。 |
| 外国語 | 「英語（リスニングを含む）」、 「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」 | 1科目選択 |
| 地理歴史 | 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」 | 6科目のうち1科目を 選択 …… a |
| 公民 | 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 | 4科目のうち1科目を 選択 …… b |
| 理科 | ① 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 4科目のうち2科目を 選択 …… c |
| | ② 「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」 | 4科目のうち1科目を 選択 …… d |

(注1) 「地理歴史・公民」を2科目受験した場合、または「理科②」を2科目受験した場合、もしくはどちらの教科も2科目受験した場合は、その受験順により成績の利用が制限されることがある。具体的には、「地理歴史・公民」の第1解答科目は必ず利用し、残りの1つについては、「地理歴史・公民」の第2解答科目と「理科①」、「理科②」（「理科②」を2科目受験した場合は、その第1解答科目）の中で受験した科目のうち、高得点の成績を利用する。

(注2) 大学入試センター試験の科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、大学ホームページ等で公表するので注意すること。

【後期日程】（3教科3科目の受験を要する。）

| 教科 | 科目 | 成績利用 |
|------|---|--|
| 国語 | 「国語」 | 必須 |
| 数学 | ① 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」 | いずれかの教科から1科目選択 |
| | ② 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 | なお、複数の科目を受験した場合は、 高得点の科目の成績を利用する。 |
| 地理歴史 | 「世界史B」、「日本史B」、 「地理B」 | ただし、「地理歴史・公民」において 2科目受験した場合は、第1解答科目 で受験した科目の成績と数学の受験科 目の成績のいずれか高得点の成績を利 用する。 |
| 公民 | 「倫理、政治・経済」 | |
| 外国語 | 「英語（リスニングを含む）」、 「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」 | 1科目選択 |

(注) 大学入試センター試験の科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、大学ホームページ等で公表するので注意すること。

4. 前期日程入学者選抜方法等

(1) 出題方針

外国語は読解力、聴解力、作文力を中心に全般的な運用能力をみる。

地理歴史は歴史に関する基礎的な知識を確認する。あわせて、歴史的な視点から現代の国際社会を理解する力を確認する。

(2) 合否判定基準

令和2年度大学入試センター試験の成績、本学学力検査の成績及び調査書の内容により総合して行う。

(3) 本学学力検査

- ① 実施期日 令和2年2月25日（火）
- ② 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- ③ 学力検査実施教科・科目及び試験時間

| 教科 | 科目 | 試験時間 |
|------|---|---------------------------|
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」の中から1科目を選択し、受験すること。 ただし、募集単位（専攻地域）のうち、「北西ヨーロッパ/北アメリカ」「アフリカ」「オセアニア」を志願する者は必ず「英語」で受験すること。 【注意事項】 ①科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 ②試験はリスニングを含む。 | 10:00～12:30 (150分) |
| 地理歴史 | 「日本史」または「世界史」のどちらか1科目を選択し、受験すること。 【注意事項】 科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 | 14:00～15:00 (60分) |

④ 大学入試センター試験及び本学学力検査の配点

| 試験区分 | 教科 | | | | | | 合計 |
|------------|------|-----|------|-------------|----|----|------|
| | 国語 | 数学 | 外国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | |
| 大学入試センター試験 | 100点 | 50点 | 200点 | 100点（50点×2） | | | 450点 |
| 本学学力検査 | — | — | 300点 | 100点 | — | — | 400点 |
| 計 | 100点 | 50点 | 500点 | 200点 | | | 850点 |

※大学入試センター試験の外国語を「英語」で受験する者は「英語リスニング」を含む。
なお、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。

(4) 合格者発表

令和2年3月6日（金） 午前10時 本学掲示板

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所宛に郵送する。

また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する。ただし、必ず合格通知書により確認すること。

(<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/guidelines/goukaku.html>)

なお、電話による合否結果の照会には、一切応じない。

※入学手続期間終了後に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがある。詳細は、10ページ「9. 欠員の補充方法」を参照すること。

(5) 入学手続等

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。

なお、入学手続の際、本学受験票及び大学入試センター試験の受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。

① 手続期間

令和2年3月14日（土）・15日（日）

② 納付金

入学料：282,000円

英語外部検定試験料：17,000円

なお、授業料は前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。

(注1) 入学時又は在学中に授業料・英語外部検定試験料の改定が行われた場合は、新授業料・新英語外部検定試験料を適用する。

(注2) 入学料・授業料免除の申請手続等については、10ページ「8. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除」を参照すること。

(注3) 入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

③ 留意事項

- a. 令和2年3月15日（日）16時までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。
- b. 本学又は他の国公立大学・学部「前期日程」試験に合格し、令和2年3月15日（日）までに入学手続を行った者は、本学「後期日程」試験に出願して受験しても合格者とはならない。
- c. 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部に入学者手続を行うことはできない。
- d. 他の国公立大学・学部既に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学者手続を行うことはできない。
- e. 入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を令和2年3月31日（火）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

5. 後期日程入学者選抜方法等

(1) 出題方針

文化・社会に関する外国語の文章を示して、読解力、論理的思考力、日本語文章表現力等をみる。

(2) 合否判定基準

令和2年度大学入試センター試験の成績、本学学力検査の成績及び調査書の内容により総合して行う。

(3) 本学学力検査

- ① 実施期日 令和2年3月12日（木）
- ② 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- ③ 学力検査実施教科・科目及び試験時間

| 教科 | 科目 | 試験時間 |
|-----|--|---------------------------|
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」の中から1科目を選択し、受験すること。 <u>ただし、募集単位（専攻地域）のうち、「北西ヨーロッパ/北アメリカ」「アフリカ」を志願する者は必ず「英語」で受験すること。</u> 【注意事項】 ①科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 ②論述形式を中心とする。 | 10:00～12:00 (120分) |

④ 大学入試センター試験及び本学学力検査の配点

| 試験区分 | 教科 | | | | | 合計 |
|------------|------|------|------|----|------|------|
| | 国語 | 数学 | 地理歴史 | 公民 | 外国語 | |
| 大学入試センター試験 | 200点 | 100点 | | | 200点 | 500点 |
| 本学学力検査 | — | — | | | 200点 | 200点 |
| 計 | 200点 | 100点 | | | 400点 | 700点 |

※大学入試センター試験の外国語を「英語」で受験する者は「英語リスニング」を含む。
なお、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。

(4) 合格者発表

令和2年3月20日（金・祝） 午前10時 本学掲示板

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所宛に郵送する。
また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する。ただし、必ず合格通知書により確認すること。

(<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/guidelines/goukaku.html>)

なお、電話による合否結果の照会には、一切応じない。

※入学手続期間終了後に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがある。詳細は、10ページ「9. 欠員の補充方法」を参照すること。

(5) 入学手続等

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。

なお、入学手続の際、本学受験票及び大学入試センター試験受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。

① 手続期間

令和2年3月26日（木）・27日（金）

② 納付金

入学料：282,000円

英語外部検定試験料：17,000円

なお、授業料は前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。

(注1) 入学時又は在学中に授業料・英語外部検定試験料の改定が行われた場合は、新授業料・新英語外部検定試験料を適用する。

(注2) 入学料・授業料免除の申請手続等については、10ページ「8. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除」を参照すること。

(注3) 入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

③ 留意事項

- a. 令和2年3月27日（金）16時までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。
- b. 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできない。
- c. 他の国公立大学・学部既に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入入学手続を行うことはできない。
- d. 入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を令和2年3月31日（火）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

IV 国際日本学部

1. 募集人員

| 募集単位 (学科) | 募 集 人 員 | | | | |
|--------------|---------|-----------------|--------------|--------------|------------|
| | 前期日程 | 詳細は各募集要項を参照のこと。 | | | |
| | | 推薦 | 帰国生等 特別推薦 | 日本留学 試験利用 | 海外高校 推薦 |
| 国際日本学科 | 35人 | 10人 | 若干名 | 20人 | 10人 |

(注) 推薦入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

2. 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】(5教科5科目または5教科6科目の受験を要する。)

| 教科 | 科目 | 成績利用 |
|------|---|---|
| 国語 | 「国語」 | 必須 |
| 数学 | ① 「数学Ⅰ」、 「数学Ⅰ・数学A」 | 1科目選択 なお、複数の科目を受験した場合は、 高得点の科目の成績を利用する。 |
| | ② 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 | |
| 外国語 | 「英語(リスニングを含む)」、 「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」 | 1科目選択 |
| 地理歴史 | 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」 | 6科目のうち1科目を 選択 …… a |
| 公民 | 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 | 4科目のうち1科目を 選択 …… b |
| 理科 | ① 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」 | 4科目のうち2科目を 選択 …… c |
| | ② 「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」 | |

(注1) 「地理歴史・公民」を2科目受験した場合、または「理科②」を2科目受験した場合、もしくはどちらの教科も2科目受験した場合は、その受験順により成績の利用が制限されることがある。具体的には、「地理歴史・公民」の第1解答科目は必ず利用し、残りの1つについては、「地理歴史・公民」の第2解答科目と「理科①」、「理科②」(「理科②」を2科目受験した場合は、その第1解答科目)の中で受験した科目のうち、高得点の成績を利用する。

(注2) 大学入試センター試験の科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、大学ホームページ等で公表するので注意すること。

3. 前期日程入学者選抜方法等

(1) 出題方針

外国語は読解力、聴解力、作文力、発話力の全般的な運用能力をみる。
地理歴史は歴史に関する基礎的な知識を確認する。あわせて、歴史的な視点から現代の国際社会を理解する力を確認する。

(2) 合否判定基準

令和2年度大学入試センター試験の成績、本学学力検査の成績及び調査書の内容により総合して行う。

(3) 本学学力検査

- ① 実施期日 令和2年2月25日（火）
- ② 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- ③ 学力検査実施教科・科目及び試験時間

| 教科 | 科目 | 試験時間 |
|------|---|-----------------------|
| 外国語 | 「英語」 【注意事項】 試験はリスニングを含む。 | 10:00～12:30 (150分) |
| 地理歴史 | 「日本史」または「世界史」のどちらか1科目を選択し、受験すること。 【注意事項】 科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 | 14:00～15:00 (60分) |
| 外国語 | 「英語スピーキング試験」 【注意事項】 ①試験は、本学とブリティッシュ・カウンシルが共同開発する、BCT-Sを利用する。 ②試験はパソコンが設置された学内の教室で行う。 | 15:30～ |

④ 大学入試センター試験及び本学学力検査の配点

| 試験区分 | 教科 | | | | | | 合計 |
|------------|------|-----|------|--------------|----|----|------|
| | 国語 | 数学 | 外国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | |
| 大学入試センター試験 | 100点 | 50点 | 200点 | 100点 (50点×2) | | | 450点 |
| 本学学力検査 | — | — | 300点 | 100点 | — | — | 400点 |
| 計 | 100点 | 50点 | 500点 | 200点 | | | 850点 |

- ※大学入試センター試験の外国語を「英語」で受験する者は、「英語リスニング」を含む。
なお、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。
- ※本学学力検査の外国語の配点は、「英語」（リスニングを含む）（300点満点）と「英語スピーキング」（50点満点）の合計得点350点を300点満点に換算する。
- ※英語スピーキング試験（BCT-S）については、<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/important/2020sjsentest.html>を参照のこと。

(4) 合格者発表

令和2年3月6日（金） 午前10時 本学掲示板

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所宛に郵送する。
また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する。ただし、必ず合格通知書により確認すること。

(<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/guidelines/goukaku.html>)

なお、電話による合否結果の照会には、一切応じない。

※入学手続期間終了後に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがある。詳細は、10ページ「9. 欠員の補充方法」を参照すること。

(5) 入学手続等

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。
なお、入学手続の際、本学受験票及び大学入試センター試験の受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。

① 手続期間

令和2年3月14日（土）・15日（日）

② 納付金

入学料：282,000円

英語外部検定試験料：17,000円

なお、授業料は前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。

(注1) 入学時又は在学中に授業料・英語外部検定試験料の改定が行われた場合は、新授業料・新英語外部検定試験料を適用する。

(注2) 入学料・授業料免除の申請手続等については、10ページ「8. 入学料免除及び徴収猶予、授業料免除」を参照すること。

(注3) 入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

③ 留意事項

- a. 令和2年3月15日（日）16時までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。
- b. 本学又は他の国公立大学・学部「前期日程」試験に合格し、令和2年3月15日（日）までに入学手続を行った者は、本学の「後期日程」試験に出願して受験しても合格者とはならない。
- c. 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部に入学者手続を行うことはできない。
- d. 他の国公立大学・学部既に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできない。
- e. 入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を令和2年3月31日（火）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

受験番号における学部及び募集単位の略称

[学部の略称]

| 学部名 | 略称 |
|--------|----|
| 言語文化学部 | G |

| 学部名 | 略称 |
|--------|----|
| 国際社会学部 | K |

| 学部名 | 略称 |
|--------|----|
| 国際日本学部 | J |

[募集単位の略称]

| 専攻言語 | 略称 |
|-------------|----|
| 英語 | 01 |
| ドイツ語 | 02 |
| ポーランド語 | 03 |
| チェコ語 | |
| フランス語 | 04 |
| イタリア語 | 05 |
| スペイン語 | 06 |
| ポルトガル語 | 07 |
| ロシア語 | 08 |
| ロシア語及びウズベク語 | 09 |
| モンゴル語 | |
| 中国語 | 10 |
| 朝鮮語 | 11 |
| インドネシア語 | 12 |
| マレーシア語 | |
| フィリピン語 | |
| タイ語 | 13 |
| ラオス語 | |
| ベトナム語 | |
| カンボジア語 | |
| ビルマ語 | 14 |
| ウルドゥー | |
| ヒンディー語 | |
| ベンガル語 | 15 |
| アラビア語 | |
| ペルシア語 | |
| トルコ語 | |

| 専攻地域 | 略称 |
|---------------|----|
| 北西ヨーロッパ/北アメリカ | 51 |
| 中央ヨーロッパ | 52 |
| 西南ヨーロッパ | 53 |
| イベリア/ラテンアメリカ | 54 |
| ロシア | 55 |
| 中央アジア | 56 |
| 東アジア | 57 |
| 東南アジア第1 | 58 |
| 東南アジア第2 | 59 |
| 南アジア | 60 |
| 中東 | 61 |
| アフリカ | 62 |
| オセアニア | 63 |

| 学科 | 略称 |
|--------|----|
| 国際日本学科 | 71 |